

# あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター  
「関\*はもみん」



6月1日～15日にあった  
市内の話題を中心に  
ご紹介します。

## お魚をつかまえたよ!

子どもたちが本物の魚を素手で捕まえる体験をし、さばいて食べるまでの流れを学ぼうと、富岡保育園のプールで園児らが「マスつかみ」に挑戦しました。約150匹のマスがプールに放たれると、園児らはずぶ濡れになりながら、素早く逃げるマスを追いかけてきました。足元のマスをつかもうと必死になり、水しぶきと歓声を上げて何度も手を伸ばしました。捕まえたマスは炭火で塩焼きにして、みんなで美味しくいただきました。



## 花いっぱいの関の道

市内をきれいな花いっぱいに飾ろうと、市内各地で「フラワーロード事業」があり、多くの市民が植栽作業に汗を流しました。秋に開催の「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」も控えており、市内の自治会、小中学校児童生徒ら約5,000人が参加。国道や県道、自治会の花壇などにサルビア、マリーゴールドなど4種類約45,000株を植栽しました。作業した生徒たちは「これから大切に育てたい」と話していました。



## タイ国一行 刃物づくり学ぶ

タイの伝統的な刃物づくりのまち、アユタヤ県アランイック市の市長をはじめ関係視察団が、刃物産業の振興策を学びたいと、関市を訪問して交流を深めました。県刃物会館で関刃物産業連合会役員らと情報交換したほか、関鍛冶伝承館の鍛錬場で古式日本刀鍛錬を見学。市の産業と伝統の魅力を伝えました。市内の刃物業者4社も訪れ、生産工程などを見学。一行は「今後もさらに交流を深めたい」と話していました。





## 田植えで地酒を仕込みます

特別純米酒「さんやほう」の原料となる地域米「みのにしき」の田植えが市内の水田であり、さんやほうサポータークラブの呼びかけに賛同した参加者が、手植えによる作業で汗を流しました。家族で参加した2年生児童が「田んぼの泥が気持ちいい。上手に苗を植えられたよ」と、泥だらけの手足を見せてにっこり話しました。収穫されるお米は、地元で仕込まれ、来年2月に「さんやほう」として出来上がります。



## ウシモツゴ守リザリガニ退治

黒屋の農業用ため池「天王池」で、地元の親子連れなど80人が環境保全のためアメリカザリガニを駆除し、池に住む絶滅危惧種ウシモツゴを観察しました。外来生物のザリガニが増えて生態系が崩れないようにと「黒屋の環境を守る会」が中心となって、毎年ザリガニを釣り上げています。今年は捕らえた数も少なく、池には多くのウシモツゴの稚魚も見られ、活動を通して地元の良好な自然環境が確認できました。



## 地域で青色防犯パトロール

市から自主防犯活動団体の委嘱を受けた、武芸川地域の住民代表らでつくる「武芸川まちづくり委員会」による青色回転灯防犯パトロール車の出発式がありました。自分たちの住む地域内を犯罪のない安全・安心なまちにしていこうと、会員らが定期的に巡回を始めます。小中学校周辺やコンビニなどの地域内を巡回し、犯罪抑止機能を向上させるとともに、要援護者の見守り活動にも取り組みます。



## 建設業が全域で応援態勢

市は、市内建設業者52社でつくる関市建設業災害対策協議会と災害時における交通網の早期復旧などの応急対策活動に関する協定を締結しました。これまで旧市町村のそれぞれの建設業協会と災害協定を結んでいましたが、地域ごとでなく、市全域で被害拡大防止や物資輸送などに協力するものです。災害時に地元建設業の活躍は必要不可欠であり、市民の安全・安心な生活を守る上で、大変心強い協定です。

## こぼれ話

関市では、「広報せき」以外にも、テレビ、ラジオ、ホームページ、ブログ、ツイッター、メール、掲示板、無線などさまざまな媒体で市民の皆さんに情報をお伝えしています。皆さんご存じでしたか？ 広報紙や無線は見聞きしているという方が多いと思いますが、テレビやラジオ、ツイッターなどにも力を入れて情報発信に取り組んでいます！そこで、今回はテレビとラジオについて少しご紹介します！

テレビは、地上波でデータ放送、ケーブルテレビで広報番組を放送しています。データ放送は、市からのお知らせをスピードを生かし情報を随時更新しながら、常に放送しています。現在は、休日診療当番や催し物の案内などを放送中です。ラジオ放送では、市職員や担当者（たまにゲスト）が直接番組に出演したり、観光情報などの情報文をパーソナリティの方に朗読してもらい放送しています。今号は、ちょうど15ページにラジオ番組案内を掲載していますので、チェックしてみてください（^^）

